

## 2004年第42週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)  
腸管出血性大腸菌感染症
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)
- 感染症豆知識(ボツリヌス症)

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



## 発生動向の概況 42週分

### (全数報告の疾患)

- ・細菌性赤痢が4件報告された。検出菌はいずれもソネ菌(推定感染地:ベトナム、パキスタン、インド・ネパール、不明)である。
- ・腸チフスが1件報告された。推定感染地はインドである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が3件報告された。検出菌の血清型はいずれもO157(VT2産生株2件、VT1 & VT2産生株1件)である。VT2産生株の1件は41週報告患者の家族検便で判明している。
- ・A型肝炎が1件報告された。感染地、感染経路ともに不明である。
- ・コクシジオイデス症が1件報告された。推定感染地はアリゾナ州(アメリカ)である。咳、痰、発熱が認められ、喀痰培養により真菌が検出されている。
- ・デング熱が1件報告された。推定感染地はシンガポールである。血清蛋白低下、血小板減少、トルニケットテスト陽性等が認められ、デング出血熱として報告されている。
- ・レジオネラ症が2件報告された。推定感染地はいずれも国内で、温泉での感染が疑われている。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地は国内、不明であり、感染経路は不明、同性間性的接触である。
- ・ウイルス性肝炎が2件報告された。いずれもB型肝炎で、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・急性脳炎が1件報告された。6歳男児で、けいれん重積、意識障害を認め、インフルエンザ迅速診断キットでA型が検出されている(41週週報に速報として掲載)。
- ・クリプトスポリジウム症が1件報告された。推定感染地は国内で、感染経路は不明である。集団発生があった長野県内の宿泊施設に8月下旬に滞在しており、9月上旬に糞便からクリプトスポリジウムが検出されていた。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が2件報告された。いずれも臨床決定の孤発例である。推定感染地は日本、不明で、感染経路はいずれも不明である。
- ・HIV感染症が5件報告された。無症候性キャリア4件、AIDS1件で、推定感染経路は同性間性的接触3件、異性間性的接触2件である。
- ・梅毒が1件報告された。無症候梅毒で、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・破傷風が1件報告された。推定感染地は国内で、外傷による創部からの感染が疑われている。64歳女性で、開口障害、けいれん、後弓反張を認めている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

### (定点報告の疾患)

- ・江戸川保健所からの26名のインフルエンザの報告は、一定点医療機関からのものである。

## (検出された病原体)

- ・インフルエンザ1名の咽頭拭い液からインフルエンザウイルスAH3型の遺伝子が検出された。
- ・無菌性髄膜炎1名の髄液と咽頭拭い液からコクサッキーウイルスB群1型が分離された。けいれん群発1名の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスB群の遺伝子が検出された。
- ・突発性発しん1名の糞便からポリオウイルス1型が分離された。不明発しん症・発熱1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。
- ・肝機能障害・胃腸炎1名の糞便からエコーウイルスとアデノウイルス、咽頭拭い液からEBウイルスの遺伝子が検出された。
- ・てんかん性脳症1名の尿からサイトメガロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・感染性胃腸炎1名の糞便からアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・ウイルス性胃腸炎集団発生は3事例の患者検体等14件からGⅡ型ノロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA8株のコアグラマーゼ型は、Ⅱ型が5件、Ⅲ型が2件、Ⅶ型が1件であった。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等25件中1件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等34件中12件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された頸管拭い液3件中2件からヒトパピローマウイルス遺伝子が検出された。
- ・多摩地区の定点から搬入された感染性胃腸炎1名の糞便からノロウイルスの遺伝子が検出された。

## 定点医療機関からのコメント

### 世田谷

- ・2ヶ月水痘、兄より感染。

# 全数届出患者報告数 2004年 42週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)		
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	1		1		10	1	72
	細菌性赤痢	5	4	4	4	109	11	487
	ジフテリア							
	腸チフス				1	14	2	56
	パラチフス	1		1		15	1	71
三類	腸管出血性大腸菌感染症	7	5	9	3	244	81	3248
四類	E型肝炎		1			4		(25)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	1	21	(2)	(116)
	エキノコックス症							23
	黄熱							
	オウム病	1				3	2	37
	回帰熱							
	Q熱					1	1	7
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症				1	1	2	6
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病			1		6	1	103
	デング熱				1	23		38
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	53
	日本脳炎							4
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ポツリヌス症								
マラリア	1				18	1	60	
野兔症								
ライム病							3	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症		1		2	16	6	115	
レプトスピラ症					3	(1)	(7)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	4	5	2	113	8	471
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			2	2	48	4	237
	急性脳炎				1	6	(5)	(54)
	クリプトスポリジウム症				1	8		90
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			2	16	1	132
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					5		47
	後天性免疫不全症候群	8	9	3	5	340	7	897
	ジアルジア症					17	2	70
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		6		20
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	2		4	1	54	7	399
	破傷風				1	2		82
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				9		41	

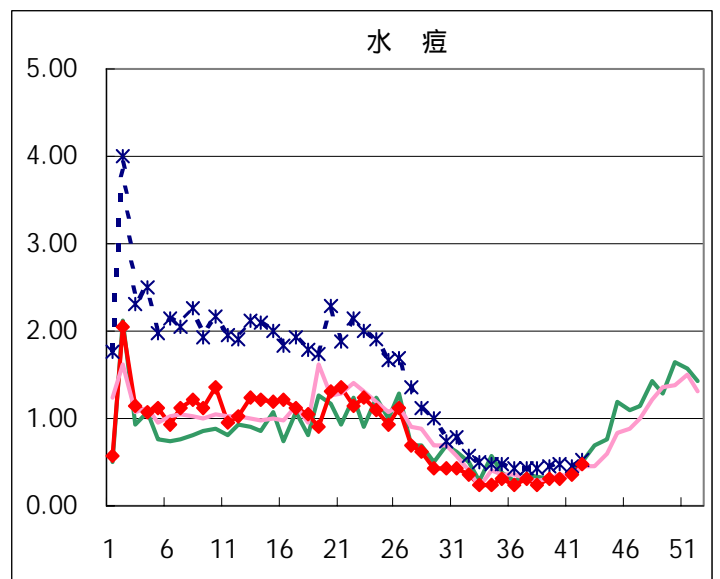
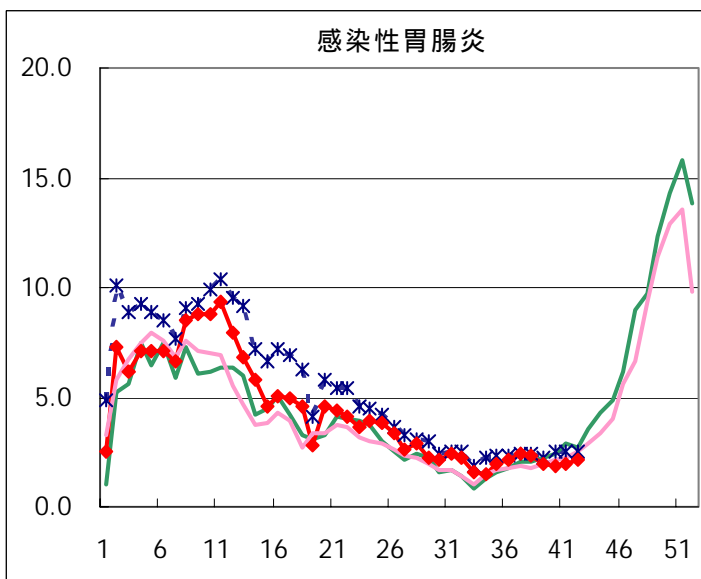
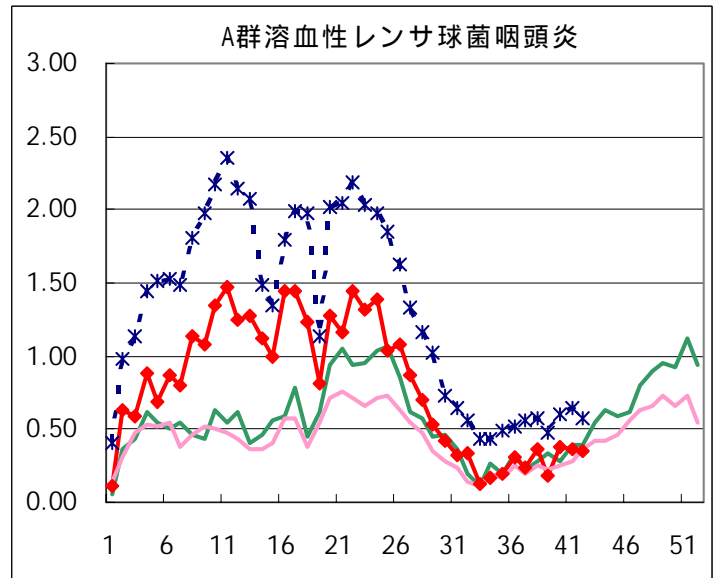
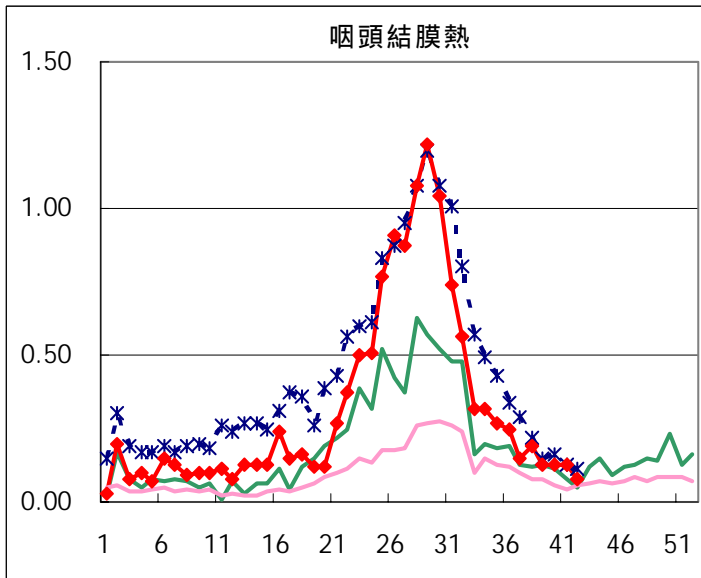
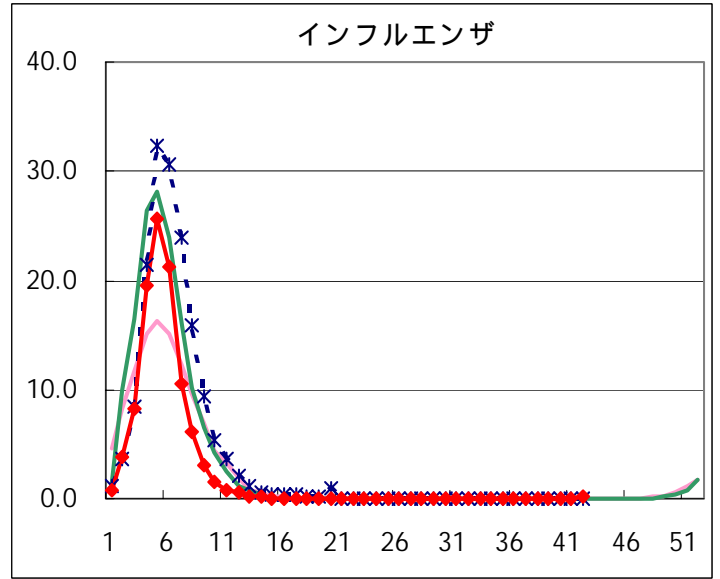
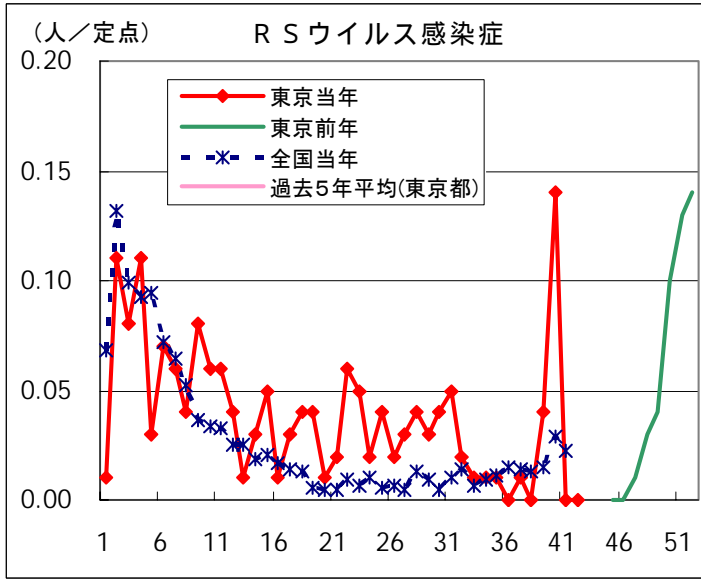
2004/10/22集計(カッコ内の数値は前週分である)。

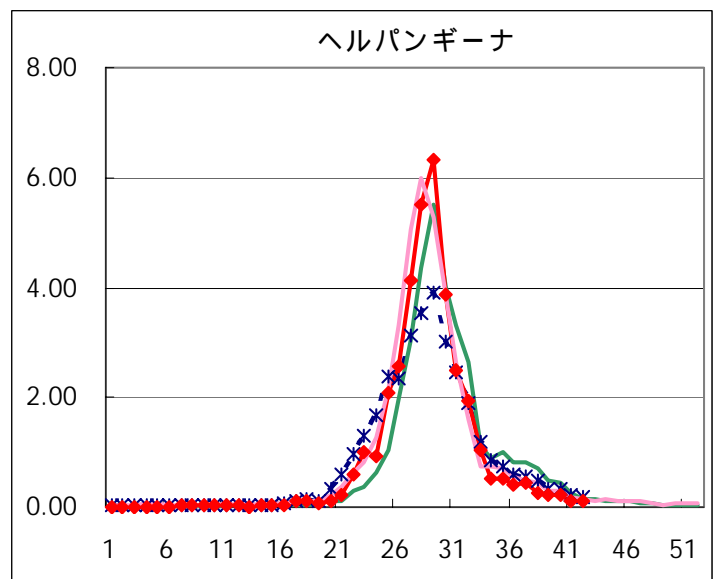
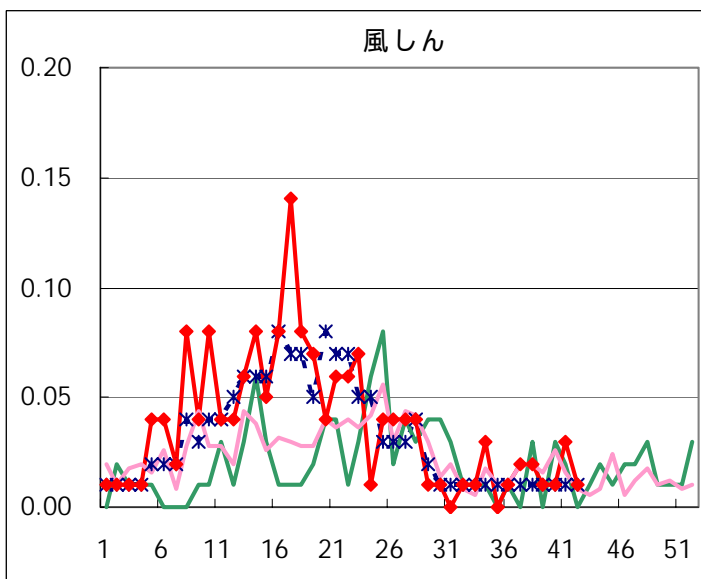
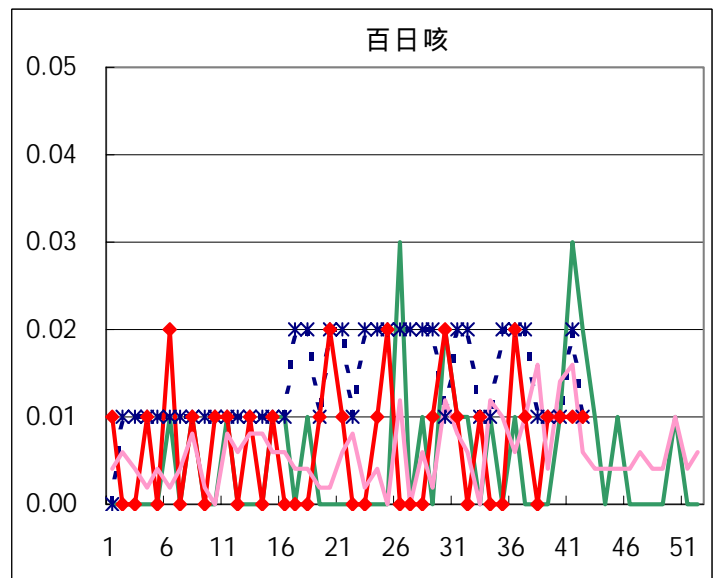
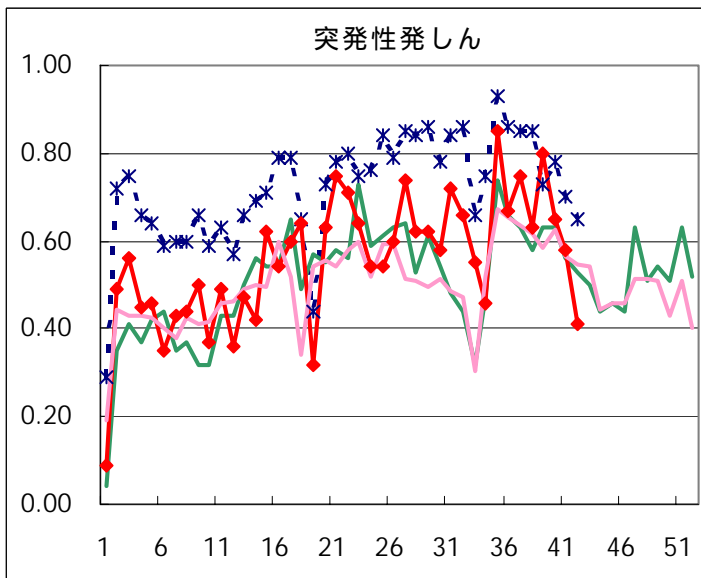
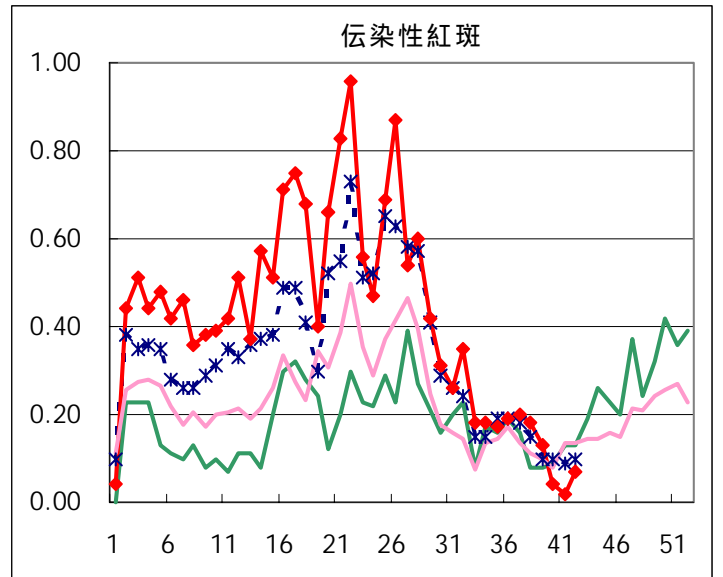
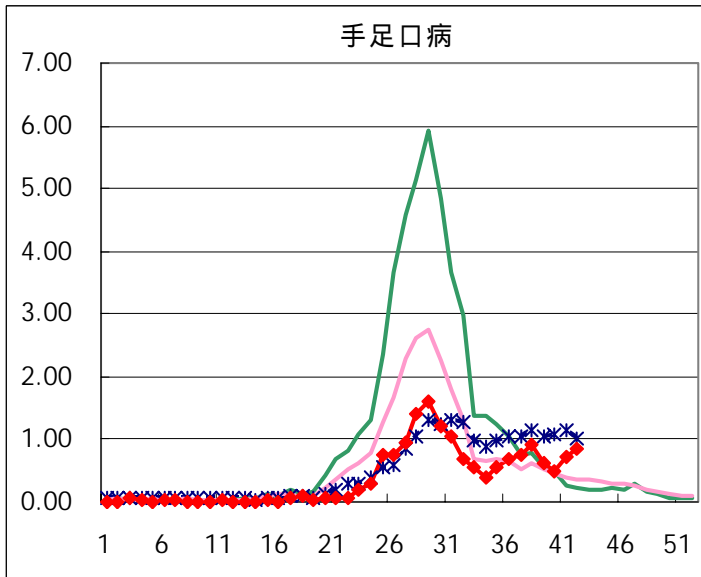
## 五類定点患者報告数(男女別)

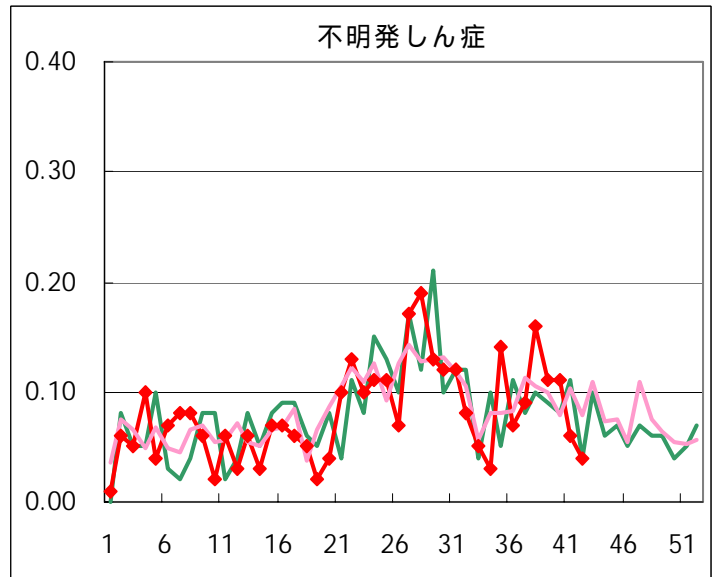
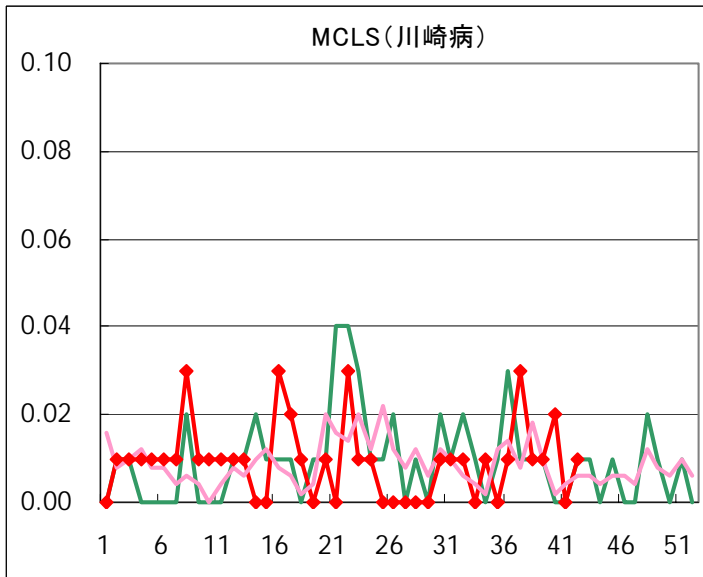
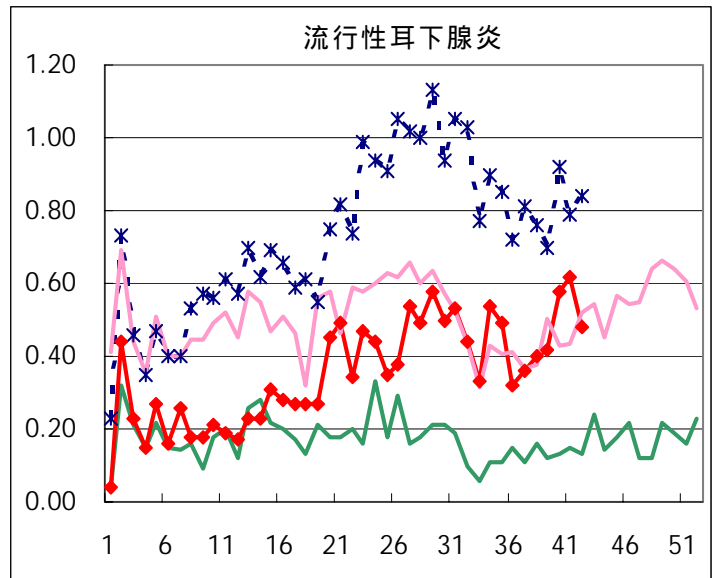
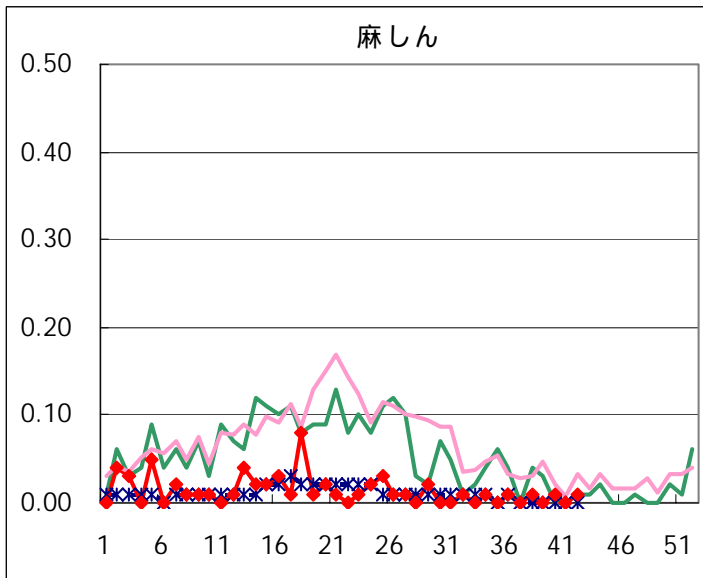
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		39	40	41	42		
RSウイルス感染症	男	2	10			12	124
	女	3	10			13	102
インフルエンザ	男			3	13	16	9,179
	女			2	17	19	9,041
咽頭結膜熱	男	8	8	9	6	31	1,009
	女	11	11	10	5	37	878
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	15	34	28	25	102	2,563
	女	10	20	24	25	79	2,217
感染性胃腸炎	男	147	140	152	173	612	13,589
	女	125	131	127	127	510	12,610
水痘	男	19	25	24	38	106	2,719
	女	23	20	27	29	99	2,377
手足口病	男	43	40	48	67	198	1,247
	女	45	31	54	52	182	1,038
伝染性紅斑	男	8	5	2	6	21	1,213
	女	10	1	1	4	16	1,306
突発性発しん	男	56	55	40	26	177	1,697
	女	58	37	42	32	169	1,614
百日咳	男			1	1	2	18
	女	1	2			3	19
風しん	男	2		3	1	6	126
	女		1	1		2	99
ヘルパンギーナ	男	14	15	12	7	48	2,666
	女	16	16	7	11	50	2,497
麻しん(成人麻しんを除く)	男		1		1	2	38
	女				1	1	34
流行性耳下腺炎	男	31	45	60	43	179	1,179
	女	28	38	28	25	119	937
不明発しん症	男	3	13	3	5	24	240
	女	13	3	5	1	22	233
MCLS	男	1	2			3	24
	女		1		2	3	28
急性出血性結膜炎	男		1			1	3
	女						3
流行性角結膜炎	男	7	7	6	5	25	333
	女	6	2	3	7	18	281
細菌性髄膜炎	男		1			1	10
	女						2
無菌性髄膜炎	男		1	1		2	14
	女	1			1	2	18
マイコプラズマ肺炎	男	1			2	3	45
	女	1	3	1		5	49
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男			1		1	2
	女						2
成人麻しん	男						9
	女						6

# 疾病別グラフ(五類定点週報告分)

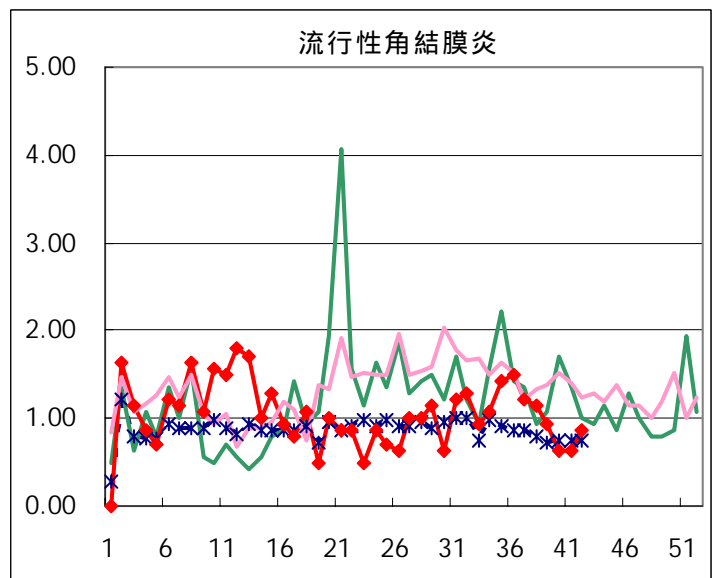
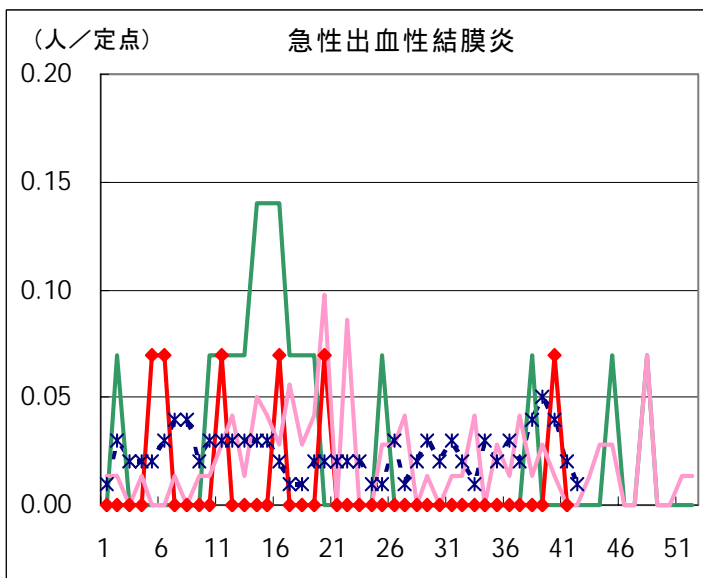
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





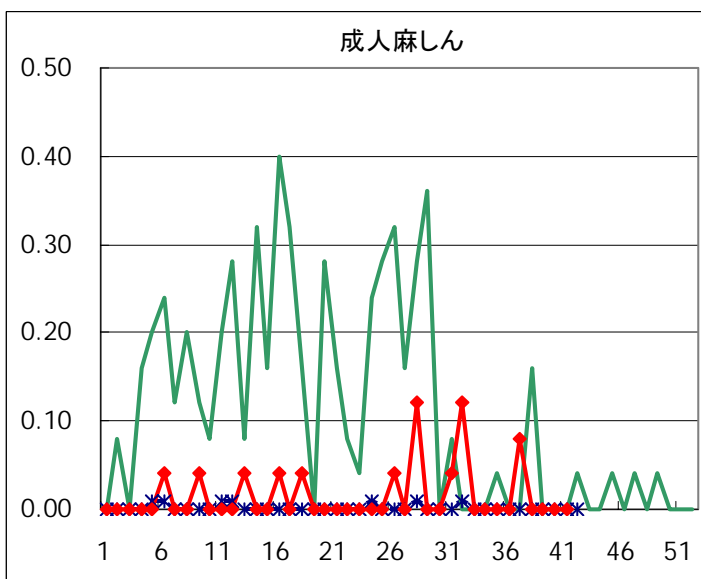
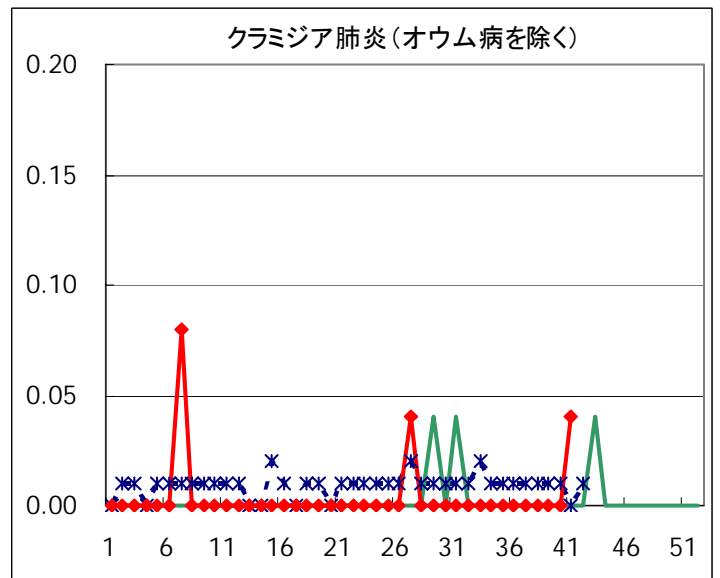
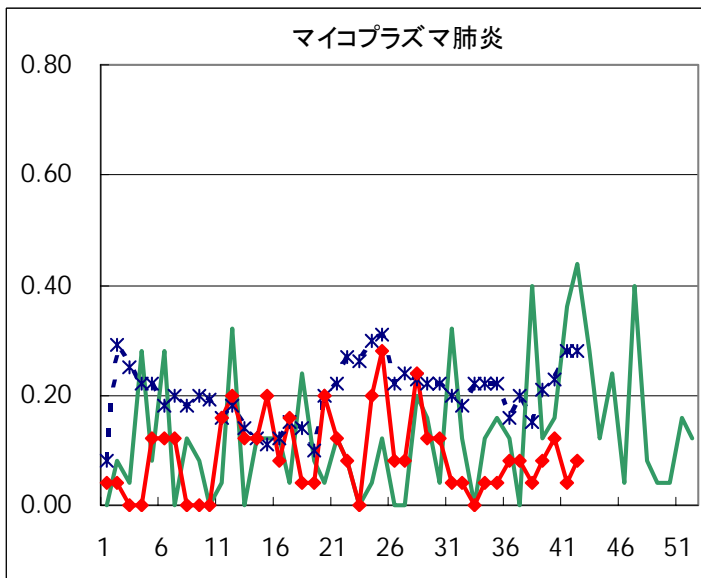
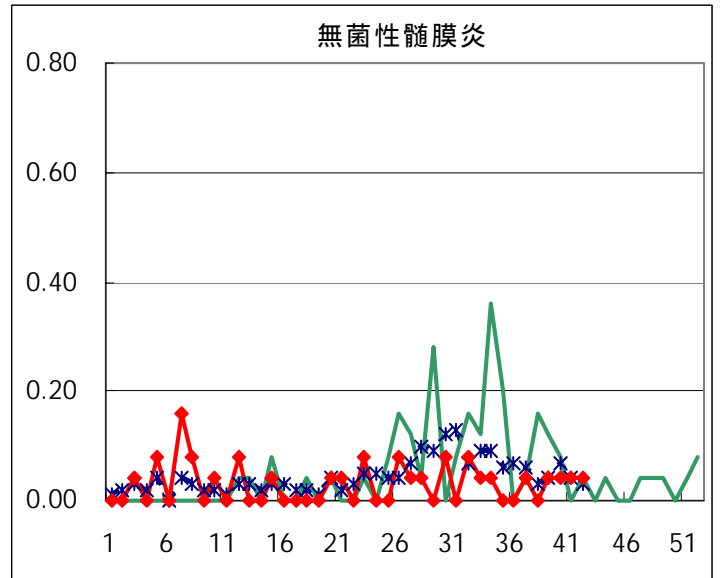
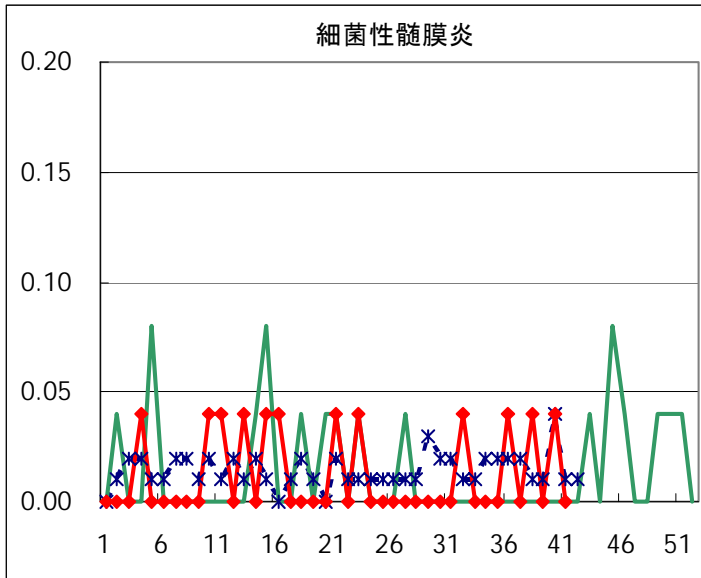


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

# 病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年35週～42週)

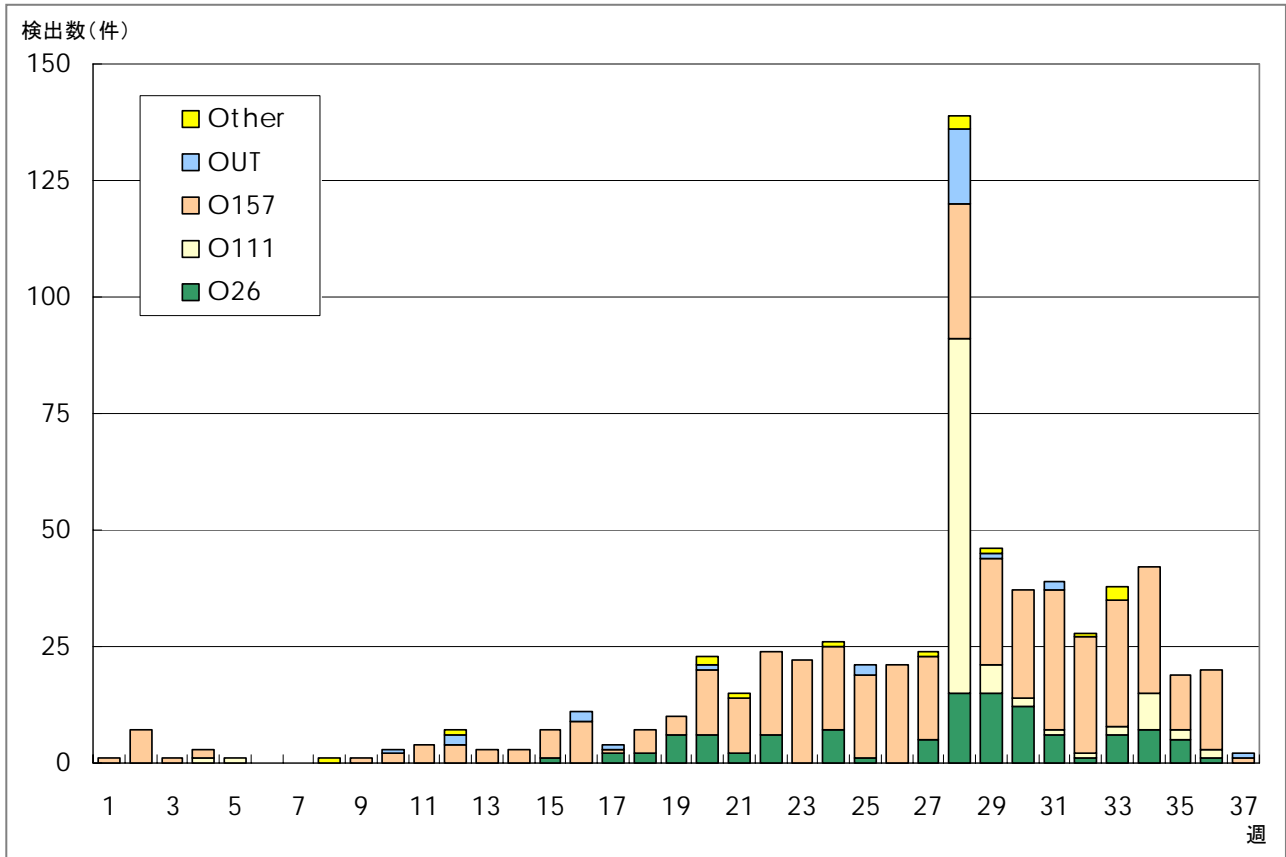
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		35	36	37	38	39	40	41	42		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型								1	1	
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	7	3	5	7		7	2	2	33	
	エンテロ	6	5	3	1	1	10	4	2	32	
	ノロ								15	15	
	ロタ										
	単純ヘルペス		1				1			2	
	水痘・带状疱疹しん										
	EBV			1			1		1	3	
	CMV	1		1	1	1	1		1	6	
	HHV6/7	2	2	1	2	3	3		1	14	
	ムンプス		1							1	
	麻しん										
	パルボB19			1						1	
	分離型別・遺伝子型別	ポリオ1					1			1	2
		ポリオ2									
		アデノ1	1								1
		アデノ2									
		アデノ3	3						2		5
		エコー13									
		エンテロ71									
コクサッキーA6											
ライノ							2			2	
抗体	デング	3		2						5	
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター					1				1	
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌	2	1	1						4	
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグララーゼⅠ型		1	1			1			3	
	MRSAコアグララーゼⅡ型	2		2			1		5	10	
	MRSAコアグララーゼⅢ型		4						2	6	
	MSSAコアグララーゼⅤ型										
	溶連菌T-1型		2							2	
	溶連菌T-3型										
	溶連菌T-4型		1				1			2	
	溶連菌T-6型										
	溶連菌T-12型		1				3			4	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型										
溶連菌T-28型		1				2			3		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒	1			1		1		1	4	
	クラミジア抗体	12	24	20	25	8	16	19	12	136	
	クラミジア遺伝子			1				1		2	
	淋菌遺伝子	1					1			2	
	パピローマ	3	3	2	2	2	1	3	2	18	

臨床診断名別病原体検出結果（2004年35週～42週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザを含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	1																1
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ		9	4	1		4	1		1			5	1			7	33
アデノ1		1															1
アデノ2																	
アデノ3		3								1						1	5
エンテロ		6	4			2	8					7				5	32
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1												2					2
ポリオ2																	
ムンプス													1				1
ノロ						15											15
ロタ																	
単純ヘルペス									1							1	2
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19												1					1
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌						4											4

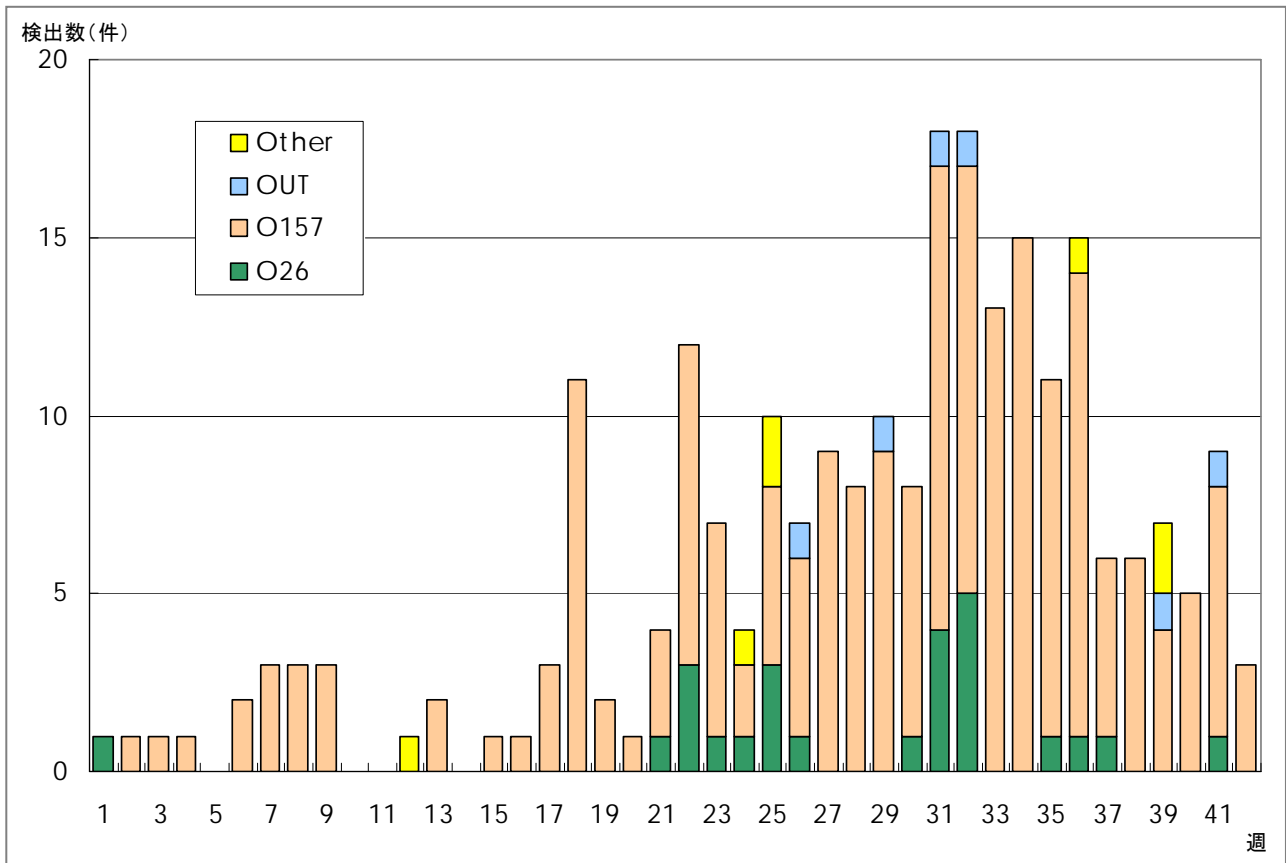
# 病原体グラフ(腸管出血性大腸菌感染症)

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌(全国)



LASR 病原微生物検出情報(2004年9月24日現在報告数)

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌(東京都)



東京都感染症発生動向調査

年齢階級別報告数 2004年 42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					6	1	1	1	5
～1歳		2			32	5	6	3	27
1歳		2	3	1	40	10	26		26
2歳		1	3	1	36	12	27	1	
3歳		3	2	6	23	11	14		
4歳		10	1	4	25	14	24	2	
5歳		2		11	18	4	12	1	
6歳		1	1	3	23	3	1	1	
7歳		2		4	16	2	3		
8歳				3	11		1		
9歳		1		5	6			1	
10～14歳		1		7	15	1	1		
15～19歳		2			5				
20～29歳		1	1	5	44	4	3		
30～39歳		1							
40～49歳		1							
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	30	11	50	300	67	119	10	58
先週比	0	25	-8	-2	21	16	17	7	-24

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月								1	
～1歳			2					2	
1歳			5	2				1	
2歳	1	1	3		8				
3歳			1		8				
4歳			4		15				
5歳			2		13			1	1
6歳					6				
7歳					5				
8歳			1		3				1
9歳					2				
10～14歳					5				
15～19歳					1				
20～29歳					2		1	1	
30～39歳							3		
40～49歳							4		
50～59歳									
60～69歳							1		
70～79歳							3		
80歳以上									
合計	1	1	18	2	68	-	12	6	2
先週比	0	-3	-1	2	-20	0	3	-2	2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						1	3			
中央区					4	2			3	
みなと			4	9	6		2		1	
新宿区					13	7	5			
文京					5		2			
台東					24	2	2		4	
墨田区				1	3		2			
江東区				3	9	1	8		2	
品川区				3	16	5	4	2		
目黒区				3	1	2	3		2	
大田区				1	23	3	10		6	
世田谷区			1		17	6	4		2	
渋谷区			1	1	17		4		3	
中野区				7	14		4			1
杉並			2	1	19	1		2	1	
池袋					1	2				
北区				5	11	4	5	2	5	
荒川区					10	5	7		2	
板橋区				1	4	1	2		1	
練馬区				3	8	1	14		3	
足立					7		2	2		
葛飾					3	5	3		7	
江戸川		26		2	15	3	8		1	
西多摩					9	5	4		3	
八王子					5	1			1	
南多摩					8		1		2	
町田				1	6	3	5		3	
多摩立川		4	1		20	1	1			
多摩府中				3	10	3	12	2	2	
多摩小平			2	6	12	3	2		4	
島しょ										

東京都合計	-	30	11	50	300	67	119	10	58	1
定点当り報告数	-	0.17	0.08	0.35	2.11	0.47	0.84	0.07	0.41	0.01

保健所別報告数 2004年 42週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									4
中央区				1					10
みなと		5	2	1			1		31
新宿区				3		4	1		33
文京						3			10
台東		1		4					37
墨田区		2		1					9
江東区		1							24
品川区				2					32
目黒区									11
大田区		1		3				1	48
世田谷区				7					37
渋谷区		1		1					28
中野区									26
杉並									26
池袋	1			1		1			6
北区				3			1		36
荒川区		1		3		1			29
板橋区				2			1		12
練馬区				1					30
足立		1		5					17
葛飾		1		5					24
江戸川				3					58
西多摩		3		4					28
八王子								1	8
南多摩				6					17
町田				4		3	1		26
多摩立川				4			1		32
多摩府中				3					35
多摩小平		1		1					31
島しょ									

東京都合計	1	18	2	68	-	12	6	2	755
定点当り報告数	0.01	0.13	0.01	0.48	-	0.86	0.04	0.01	

## 保健所別報告数(定点当たり) 2004年42週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						0.25	0.75			
中央区					1.33	0.67			1.00	
みなと			0.67	1.50	1.00		0.33		0.17	
新宿区					2.17	1.17	0.83			
文京					1.67		0.67			
台東					8.00	0.67	0.67		1.33	
墨田区				0.33	1.00		0.67			
江東区				1.00	3.00	0.33	2.67		0.67	
品川区				0.50	2.67	0.83	0.67	0.33		
目黒区				1.00	0.33	0.67	1.00		0.67	
大田区				0.11	2.56	0.33	1.11		0.67	
世田谷区			0.13		2.13	0.75	0.50		0.25	
渋谷区			0.25	0.25	4.25		1.00		0.75	
中野区				1.17	2.33		0.67			0.17
杉並			0.33	0.17	3.17	0.17		0.33	0.17	
池袋					0.20	0.40				
北区				1.25	2.75	1.00	1.25	0.50	1.25	
荒川区					5.00	2.50	3.50		1.00	
板橋区				0.17	0.67	0.17	0.33		0.17	
練馬区				0.60	1.60	0.20	2.80		0.60	
足立					1.75		0.50	0.50		
葛飾					0.75	1.25	0.75		1.75	
江戸川		5.20		0.50	3.75	0.75	2.00		0.25	
西多摩					1.80	1.00	0.80		0.60	
八王子					2.50	0.50			0.50	
南多摩					2.67		0.33		0.67	
町田				0.50	3.00	1.50	2.50		1.50	
多摩立川		0.50	0.17		3.33	0.17	0.17			
多摩府中				0.30	1.00	0.30	1.20	0.20	0.20	
多摩小平			0.33	1.00	2.00	0.50	0.33		0.67	
島しょ										

東京都合計	-	30	11	50	300	67	119	10	58	1
定点当り報告数	-	0.17	0.08	0.35	2.11	0.47	0.84	0.07	0.41	0.01



## 保健所別報告数(定点当たり) 2004年42週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区				0.33				
みなと		0.83	0.33	0.17			0.17	
新宿区				0.50		2.00	0.17	
文京						3.00		
台東		0.33		1.33				
墨田区		0.67		0.33				
江東区		0.33						
品川区				0.33				
目黒区								
大田区		0.11		0.33				0.11
世田谷区				0.88				
渋谷区		0.25		0.25				
中野区								
杉並								
池袋	0.20			0.20		1.00		
北区				0.75			0.25	
荒川区		0.50		1.50		1.00		
板橋区				0.33			0.17	
練馬区				0.20				
足立		0.25		1.25				
葛飾		0.25		1.25				
江戸川				0.75				
西多摩		0.60		0.80				
八王子								0.50
南多摩				2.00				
町田				2.00		3.00	0.50	
多摩立川				0.67			0.17	
多摩府中				0.30				
多摩小平		0.17		0.17				
島しょ								

東京都合計	1	18	2	68	-	12	6	2
定点当り報告数	0.01	0.13	0.01	0.48	-	0.86	0.04	0.01

## ボツリヌス症

ボツリヌス症はボツリヌス菌が産生する毒素により起こる。ボツリヌス菌は嫌気性で芽胞を形成して土壌中に存在する。毒素はコリン作動性神経のシナプスで神経細胞に結合しアセチルコリンの遊離を阻害して筋肉の麻痺を起こす。ボツリヌス症には食品中の菌が産生した毒素を摂取して発症する 食餌性ボツリヌス症、乳児の大腸で増殖したボツリヌス菌の毒素による 乳児ボツリヌス症、創傷部位に入って増殖した菌の毒素による 創傷性ボツリヌス症、成人が乳児ボツリヌス症と同じ機構で発病する 成人の乳児型ボツリヌス症がある。一番多い食餌性ボツリヌス症の大部分は「いずし」の喫食によるが、8~36時間の潜伏期の後、嘔吐、下痢、複視、眼瞼下垂、嚥下困難、発声困難、筋弛緩、呼吸困難などの症状が現れる。神経症状は左右対称で呼吸麻痺により死亡する。発病者の死亡率は20%前後である。乳児ボツリヌス症では便秘、乳の吸飲減弱、無表情、頸や手足の筋力低下などが見られる。半数以上がハチミツ中の菌の摂取による。大腸からの毒素の吸収が悪いため死亡率は2%以下と低い。ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、ポリオ、脳炎、高マグネシウム血症、キノコ毒中毒などと鑑別が必要である。食品、血清、便からの毒素の検出や食品、便からの菌の検出が診断に有用である。治療は抗毒素療法と対症療法で、発症前または発症後早期に大量の抗毒素を投与すると死亡率が下がる。対症療法は呼吸麻痺に対して人工呼吸器の装着や気管切開が行われる。回復した場合後遺症はない。

(文責・関根 大正)